

国営かんがい排水事業（直轄明渠排水事業）

きよかわ にき

清川二期地区

『攻めの農業』を進め地域の笑顔を支えるために

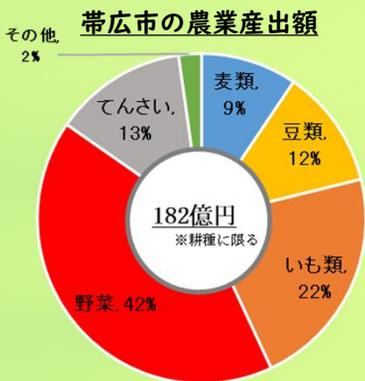


➤ 地域の概況

本地域では、小麦・ばれいしょ・てんさい・豆類（大豆・小豆）・スイートコーン・ながいも・たまねぎ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されている。

農作物生産において「ばれいしょ」については、作付面積が全国第1位であり、「ながいも」「小豆」は作付面積全国第2位、「スイートコーン」は全道第3位の作付面積を誇っている。

地域で生産される「ながいも」は、JA帯広かわにしを主体とした「十勝川西長いも運営協議会（十勝管内10JAが参加）」により、全国への出荷に加え、台湾への輸出を開始（H11～）、現在ではアメリカ合衆国、シンガポール等へも輸出を行っている。



資料：市町村別農業産出額（推計）



十勝川西長いも
出荷用ダンボール
〔赤白：輸出用〕
〔青：国内用〕

➤ 地区の現状と課題

地区内の排水施設は、直轄明渠排水事業「清川地区」（昭和50～平成3年度）により整備されたが、降雨条件の変化に伴う流出量の増加により排水能力が不足し、農地への湛水被害が発生しており、農業生産性が低下している。



排水路の溢水状況 (H28)



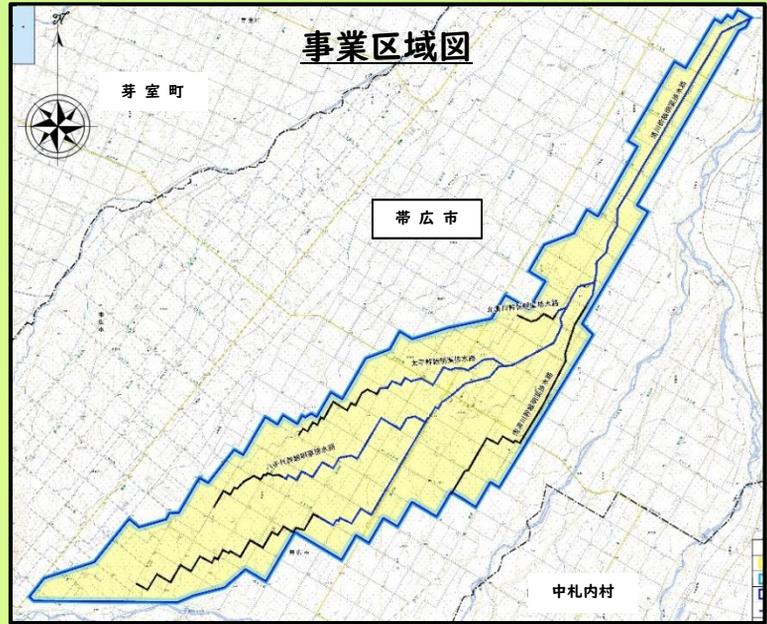
スイートコーンの湛水被害状況 (H28)

➤ 事業構想

■ 事業目的

本地区の排水施設は、直轄明渠排水事業「清川地区」(S50~H3)により整備されたが、降雨形態の変化に伴う流出量の増加により排水能力が不足し、農地への湛水被害が発生しており、農業生産性が低下している。

このため、本事業では、排水路の整備を行い、農地の湛水被害の解消及び維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資する。



■ 事業構想

排水路整備により施設機能の向上を図る。

施設の造成完了から**30年以上**が経過
(直轄明渠排水事業 清川地区 S50~H3)

近年は降雨条件の変化に伴い流出量が増加

- 湛水被害の発生
- 高収益作物の生産拡大が困難

このため、本事業で排水路を改修し湛水被害の解消を図り、農業生産性の向上、農業経営の安定を図る。



➤ 事業計画概要

- 受益面積 : 2,650ha (畑: 2,650ha)
- 関係市町 : 帯広市
- 受益戸数 : 121戸
- 主要工事 : 排水路(改修)5条 L=22.1km
- 主要作物 : 小麦、ばれいしょ、てんさい、大豆、小豆、スイートコーン、ながいも、たまねぎ、飼料作物

